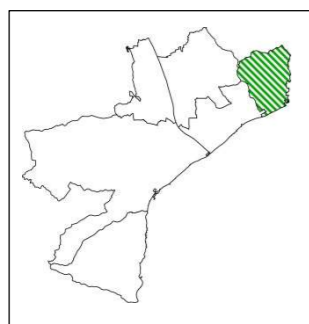


### 3-7. 橘地域の主な事業・取り組み (前羽地区、橘北地区)



県道 709 号(中井羽根尾)沿いの街路樹



千代の松跡から望む丘陵の農地景観

#### ■主なみどりの資源等

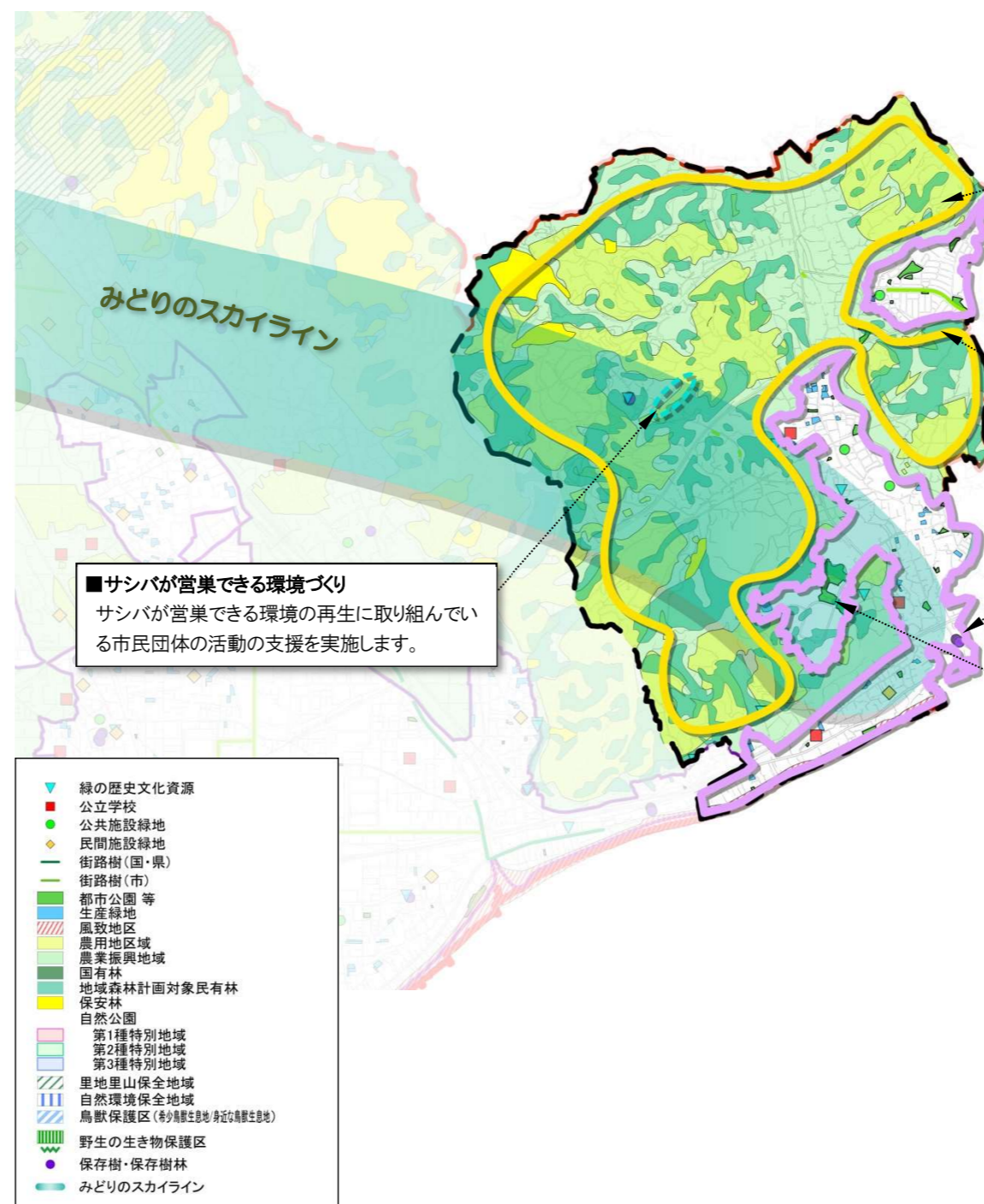
種類	箇所	面積	備考
都市公園	25	60,048.3 m <sup>2</sup>	羽根尾史跡公園、街区公園
公共施設緑地	4	43,572.0 m <sup>2</sup>	小学校校庭(前羽、下中)、中学校校庭(橘)、中村原理立処分場
地域制緑地	保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、保存樹林、天然記念物(前川近戸神社の社叢)、河川区域(中村川)		
主なみどりの資源 塔台川、羽根尾貝塚(ジオサイト)、沼代桜の馬場、王子神社(杉)、広済寺(カキ)			

#### ■みどりの概況

- ・小高い丘陵地に囲まれ、相模湾に面していることから、温暖な気候を活かした柑橘栽培などが盛んで、地域西側には果樹園が広がり、中村川沿いでは水田の存在もあります。市街化調整区域は農用地区域と国有林がモザイク状に入り混じり、一部保安林の指定がされています。その状況から、現況調査による緑被率は61.7%と自然の豊かな地域であることがわかります。農地、樹林地が概ね半々となっています。
- ・大規模な都市公園は羽根尾史跡公園があり、住民一人当たりの都市公園面積は約5m<sup>2</sup>/人あり、標準には至らないまでも、開設されている公園の配置に偏りがなく、市内では比較的良好な条件にあります。羽根尾史跡公園には樹林地に包まれた古墳文化を今に伝える貴重な遺跡があり、歴史を学べる公園としての利活用を推進しています。

#### ■みどりの課題

- ・市民アンケートでは、「歴史文化への役割をみどりに期待する」、「住まいのみどりを重視する」、「みどりは豊かだがあまりきれいではない」という意見が多くあったことから、地域の歴史や文化を今に伝える羽根尾史跡公園の再整備や民有地緑化の支援策を活用した住宅地の沿道部などにおける緑化の推進により、身近なみどりの質の向上などが必要とされます。
- ・偏りなく存在する既存の公園においては、老朽化した遊具の計画的な更新や利用者のニーズに合わせた公園のリニューアルなどにより、公園としての魅力を高め、利用の促進を図る必要があります。



#### ■森林の保全・再生活動の普及

森林の保全を支援する各種制度の利用や市民や企業が参加する活動により、継続性のある森林の保全・再生活動を実施していきます。

#### ■農地の保全と耕作放棄地の活用

優良な農地については保全するとともに、耕作放棄された農地を解消させる取り組みを支援します。

#### ■みどりの意識を活かした緑化活動への展開

民有地緑化の支援策の普及・啓発や、公共施設を利用した緑化活動などにより、みどりに触れ合う機会を増やし、緑化の推進を図っていきます。

#### ■社寺林等の保全

公開性のある社寺の保存樹等について、その価値や保全への普及・啓発と支援策の導入を検討します。

#### ■大規模な都市公園の再整備

羽根尾史跡公園は、利用者ニーズに対応し機能をより発揮させるよう、再整備を行います。

